

❁ 議会だより

第39号

木津川市議会



URから土地取得	本会議	2～4
20人が市政を問う	一般質問	12～22
市民と議会のつどい		25

はばたけ 新成人

取得賛否分かれる

12月定例会は、12月1日から12月21日まで、21日間の会期で開催した。
同意7件・議案29件・請願3件を審議し、同意・可決・採択（うち1件は一部採択）した。

2件の土地
2億3345万
円で契約

9月定例会で「適切な価額となるよう交渉を」との付帯意見を付けていたが、予算額から合わせて7740万円を減額し、土地を取得。

Q 城山台の土地は、水害対策のための購入だが、開発の予定はあるのか。
A 下流域の災害対策のため必要。開発は今後、駅東と一体で考える。

Q 給食センターの予定地（梅美台）は、のり面の部分が多い。
市の端に位置しており、給食の配送に時間がかかるのでは。

A 7千食を確保できる広さはある。
配送の試走では問題な

かった。

城山台土地購入

反対討論

用途地域が決定された住宅専用地域を市がURから購入することは、事業

市が財産取得するのに「行政目的」のない土地の購入は、あり得ない。

谷川 光男

目的執行面で問題がある。活用目的も不明確で長期になる保有は反対。

西山幸千子

土地購入と別に、小川流域の治水対策はすぐに行うべきで反対。

賛成討論

小川流域の排水能力が低い中で、民間の開発が行われると旧木津町中心部の住宅浸水が心配。

木津駅東の整備時には有効利用が図れ、賛成。

高岡 伸行

賛成多数で可決
(賛成15人・反対6人)

給食センター土地購入

反対討論

新給食センター予定地は、学校施設から遠距離で国の厳しい基準、調理した食品を調理後2時間以内に喫食できない。食中毒の原因にもなる。

九社前幸朗

3議案とも賛成多数で可決
(賛成16人・反対5人)

反対討論

民間との格差是正が提案理由だが、多くの人が景気回復の実感がない。増額分は、住民サービスに使うことこそ、市民ファーストではないのか。

高味 孝之

期末手当アップ

賛成多数で可決
(賛成15人・反対6人)

議員、市長・副市長、教育長の手当が人事院勧告により増額。



おいしい給食を届けるために（山城給食センター）

URからの土地

職員の給与アップ

民間給与との格差是正のため、給与・期末手当を増額。

Q 職員組合との交渉状況は。

A 妥結している。

反対討論

微々たる給与引き上げの一方、配偶者手当の大幅削減など、職員の暮らしを支えていない。市が府人事委員会勧告を無視し続けるのは間違い。

酒井 弘一

賛成多数で可決

(賛成16人・反対5人)

共同浴場の料金改定

経営健全化を進めるための改正。

Q 高齢者の無料制度をなぜなくすのか。

A 高齢者も光熱水費の負担をお願いするもの。

宮嶋・森岡より70歳以上の市民の無料化存続の修正動議が出された。

Q 利用者アンケートで、値上げに対して、ほとんど反対はなかったのでは。

A (提出者) 福祉サービスとして、高齢者の無料が望ましい。

修正案賛成討論

同和事業の終結を目指す内容での目的の変更、未就学児の無料設定など高く評価する。70歳以上の市民の無料制度を継続する修正案に賛成。

酒井 弘一

原案賛成討論

今まで進まなかった施設・設備の更新や、利用者へのサービスを、より一層充実することが見込まれる。

長岡 一夫

修正案賛成少数で否決

(賛成4人・反対17人)

原案全員賛成で可決

10周年記念事業等予算を補正

補正額4億2780万円、総額318億8001万円とするもの。

Q 今回は友好都市の締結にかかる費用だけだが、今後の交流費は。

A 今後、大きく膨らむことはない。

Q 国保の補正額は、一般会計より1億3123万円繰り出したが、今後の見通しは。

A 国保会計は厳しいが、30年の広域化を見据えていく。

反対討論

理由①市民負担増の北陸新幹線の誘致②市民の支持がない友好都市盟約③わずかな賃上げで生活と地域経済は良くなる④間違いの土地購入。

宮嶋 良造

賛成討論

たけのこバーガーのブランド化。城山台地区に

第二児童クラブの整備。城山台と中心市街地を結ぶ道路整備など、総合的に判断し賛成。

高岡 伸行

賛成多数で可決

(賛成15人・反対6人)

サントモニカ市と友好都市締結

Q なぜサントモニカ市なのか。

A 中学生派遣事業として、長い付き合いがある。

反対討論

国際交流は大事だが、サントモニカ市との友好都市盟約に市民の支持が広がっていない。市民の支持があつてこそその友好都市だ。

宮嶋 良造

賛成討論

市民レベルで中学生派遣事業が、18年間続いていた。市制10周年を機に、新たに友好都市盟約を締結し、両市の各分野での交流を進めるべき。

高味 孝之

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)

新市基本計画の変更

5年延長になった合併推進債を有効活用するための変更。

反対討論

合併推進債の期間延長は当然。しかし、給食センターの統廃合、公共施設の集約化・複合化などを国に約束する記述変更は不要。

酒井 弘一

賛成討論

公共施設の統合と教育設備の充実が必要。合併推進債を活用する方が有利で、新市基本計画に位置づけたことは財政運営に寄与できる。

炭本 範子

賛成多数で可決

(賛成15人・反対6人)

税機構の規約変更

軽自動車税の受付事務を追加するもの。

反対討論

税務は自治体の固有の業務。軽自動車税を市の事務から外すことは、市の課税権の侵害。肥大化する一方の税機構のあり方を批判する。

酒井 弘一

賛成討論

税務共同化の範囲内で軽自動車税、自動車税申告の受付を一本化するもの。利便性向上、業務の効率化を図るものであり賛成する。 島野 均

賛成多数で可決

(賛成16人・反対5人)

城山台にショッピングセンター誘致

Q 都市計画審議会で、継続審査になったが、十分に協議したのか。

A 都計審の審査決定として、商業施設は必要で地域にも寄与する。

反対討論

城山台での商業施設は必要だが、1万㎡の規制を外すことは大型店の進出につながり、地元企業の売上げ減少や倒産につながるので、反対。

森岡 譲

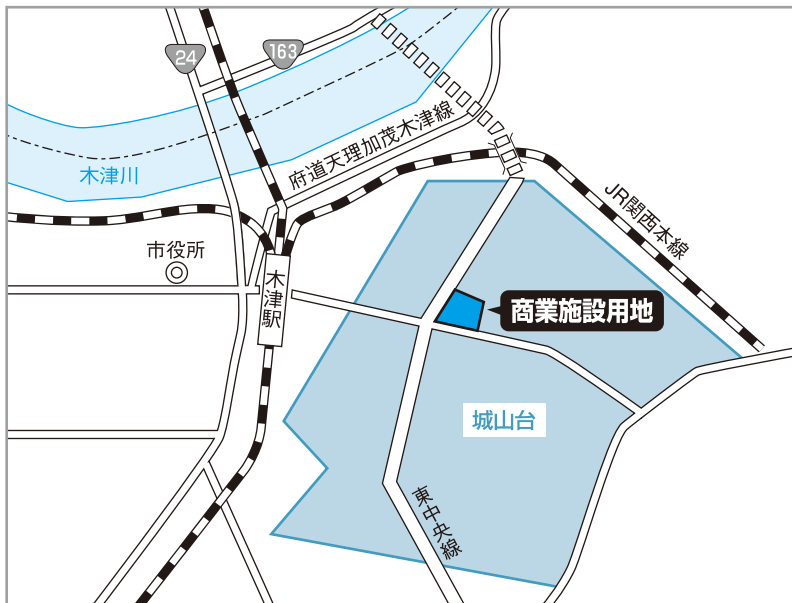
賛成討論

城山台センターゾーンに対する「建築物の制限」を改めることで、企業が進出し、良好な生活環境を創出、人口増加が見込まれるため賛成する。

西岡 政治

賛成多数で可決

(賛成17人・反対4人)



城山台ショッピングセンター予定地

請願

ゆきとどいた子育て・教育環境を求める

請願者

木津川市いきいき子育てネットワーク

紹介議員

酒井 弘一・九社前串朗 森岡 譲

請願項目

- ①一刻も早く全ての教室にエアコン設置を。
- ②学校図書館司書を、1校に1人配置を。
- ③教職員の増員を国・府に働きかけを。
- ④安全に遊べる公園などの整備をさらに進めよ。

賛成討論

昨年国会で成立した学校図書館法一部改正でも、学校司書の配置に努めなければならぬとある。議会では全項目に込められた願いを受け止めよ。

西山幸千子

賛成討論の後、項目別採択の動議が出された。

①は全員賛成で採択

②は賛成少数で不採択

③④は賛成多数で採択

市外の保育園への委託を求める

請願者

保育園の広域入所を求める会

紹介議員

尾崎 輝雄・西岡 政治 酒井 弘一・森本 茂 島野 均

請願項目

「広域入所制度」を取り入れる自治体が増えていく。勤務状況を考慮し、市外からの受託も可能とする。

Q 市内の園児への影響は。
A (委員長) 影響は少ない。

全員賛成で採択

中高生のための自主学習環境の充実を

請願者

山本しのぶ

紹介議員

九社前串朗・酒井 弘一

請願項目

中高生が気兼ねなく、自主学習できる公共スペースの設置を。

賛成多数で採択

(賛成15人・反対6人)

ふるさと納税が

インターネットで可能

補正予算特別委員会

12月12日に委員会を開会。一般会計予算を4億2780万円増額し、318億8001万円とするもの。賛成多数で可決。

主な質疑

A 市広報やホームページで知らせる。
期間は1年間と考えている。

Q 女性消防団小型動力ポンプの活用は。

賛成討論
府民税交付金の活用や2カ所の土地購入価格の減額は妥当。

Q 豊かな森を育てる府民税交付金の活用は。

A 上狛小学校へ工作台、工具棚と掃除用具入れ、木製の椅子を購入。

Q たけのこバーガーの事業者の組織は。

A 商工会青年部で、年間4回のワークショップを開催し、地域住民と開発や展開、流通を協議し進める。

Q ふるさと納税に新設された手続きは。

A これまでは寄付の申し込み後、送付した納付書で郵便局から寄付金額を振り込む手続きだった。今回インターネットで寄付金額等を入力するとクレジットカードで決済される。

Q 一般職員の時間外勤務の管理は。

A 月60時間を超えると労働者にとっては身体、精神的に何らかの支障をきたすことから、長期になると健康相談を実施している。

反対討論

2つの土地購入、多大な費用がかかる新幹線誘致等、問題が多く反対。

Q 市制10周年記念事業の市民に対する周知は。

A 予算は市が依頼したURの経営判断による提示価格を協議した結果である。



木津川市ふるさと応援基金に1万円以上寄附いただいた方に、感謝の気持ちとして、地元特産品などのご希望の記念品を贈ります。

ふるさと納税の記念品は63種類から選べます

補正予算の主な事業

- ・ 人事院勧告に伴う給与改定 2,614万円
- ・ 社会保障関係経費 1億3,213万円
(福祉医療費、障害児通所サービス、保育所入所児童委託料、生活保護扶助費等)
- ・ 市制10周年記念式典 240万円
- ・ 内垣外内田山線他道路用地取得 4,465万円
- ・ 城山台児童クラブ新築設計費 1,509万円
- ・ 新設学校給食センター用地地質調査費 306万円

委員長
副委員長
委員

高味	西岡	島野	宮嶋	尾崎	森本	九社	高岡	森本	森岡	河口
孝之	政治	均	良造	輝雄	茂	前	伸行	隆	讓	靖子

サンタモニカ市と 友好都市の 締結

総務文教委員会

12月4日に委員会を開会し、議案12件、請願2件、報告3件を審査した。

全議案可決
請願1件一部採択・請願1件採択

サンタモニカ市の 友好都市盟約の締結

賛成多数で可決

Q 名称は友好都市か姉妹都市か。

A 友好都市とする。サンタモニカ市長など招待したいと考えている。

反対討論

市民に共通認識がない状態での締結は時期尚早であり反対。

賛成討論

締結により、今後、文化・スポーツ・教育・経済の振興につながる。

議員報酬、特別職、職員の給与等に関する条例の改正

Q 民間企業が賃上げされない中での改正は理解されないのでは。

A 人事院勧告や近隣市町村の状況で判断した。

Q 職員の介護休暇・育児休業等の内容は。

A 3年の期間内であれば、分割取得でき、時間は最長1日2時間。

育児休業の範囲を拡大する。

反対討論

住民に負担をかけ、公務員だけの賃上げである。人勧準拠には反対。

賛成討論

育児・介護休業の拡充と消費拡大・民間給与への波及効果を考え賛成。

4議案とも賛成多数で可決

新市基本計画を変更

Q なぜ今、変更なのか。

A 合併推進債が5年間延長されたことに対応するため。

反対討論

改正される文章が必要以上に国・府に追従の表現になっているため反対。

賛成多数で可決

新給食センター用地の契約

Q 梅美台8丁目2番の土地1万4799㎡を1億4千万円で取得。

A 広大なのり面があり、価格交渉をさらに続けるべきだったのでは。

Q インフラ整備が整っており、市の鑑定評価より安価であった。

反対討論

山城地域を中心とした市民の不安の声にこたえていないので、反対。

賛成多数で可決

ゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願書

Q 学校図書館司書は2校に1人で、9人で1600万円かかっている。

司書教諭の兼任で図書整理はできるのでは。
A（請願者）もっと充実してほしい。

3項目のうち「エアコンの設置」を全員賛成で採択。「教職員の増員を」を賛成多数で採択。「学校図書館司書の配置」は委員長採決で不採択。

賛成多数で採択

中高生のための自主学習環境の充実に関する請願書

Q 具体的に公共スペースをどこに求めるのか。
A 中央図書館2階会議室・本庁1階住民活動スペースなど。



サンタモニカ市での中学生交流の様子

共同浴場の入浴料が変わる

厚生委員会

12月6日に委員会を開会し、議案5件、議員発議1件、請願1件を審査した。

全議案可決・請願採択

市外利用者の料金を新たに設定

Q 市営住宅で風呂がないのは何軒か。

A 92軒のうち、風呂があるのは十数軒。

Q 利用者の負担増となるが。

A 議会でも指摘があり、健全運営に向け、近隣の状況とコストを考えた。

Q 高齢者カードがないと市外の利用者は8倍の値上げだ。

A もともとが低料金であり、今回、市外料金を設定した。

宮嶋委員より、70歳以上の高齢者を無料とする修正動議が出された。

原案賛成討論

施設の老朽化もあり、料金改正で施設整備を進めるべき。

修正案賛成少数で否決
原案全員賛成で可決

(退席1人)

小規模な通所介護施設の変更

Q 内容は。人数の配置に変更はあるのか。

A 18人以下の小規模な通所施設（デイサービス）を地域密着型に変える

もの。配置基準は同じ。

全員賛成で可決

国保会計補正予算

Q 27年度が赤字決算。この補正額で大丈夫か。

A インフルエンザなどで増える要素はあり、今後も厳しい状況。

全員賛成で可決

後期高齢者会計補正予算

Q 人間ドック受診人数は。今後の見通しは。

A 12月で530人ほど。年々増加傾向である。

全員賛成で可決

市外の保育園への委託を求める請願書

担当課の出席を求める動議が出され、参考とするため、説明を求めた。

Q 市外への通園は「保育の連続性」を考えた場合のことか。

A (紹介議員) 連続性があり、保育は保護者が主導することと考える。

全員賛成で採択

研修報告

「質の確保」を目指した保育事業の運営

10月25日、神奈川県小田原市で小規模保育事業、地域子育て力向上事業等の研修を行った。

市内を既存施設の配置状況や生活圏で4つの地域に分けて、低年齢児の保育ニーズを把握。2年で6カ所の小規模保育事業を整備。事業所は全て「保育の質の確保」を目指し、「全員保育士配置のA型」とした。

子育て力向上事業では、当市にはない産前産後の家事支援や朝6時から夜10時までの預かり支援などが行われている。保育士不足の中でも、

理念を持った運営は見習うものが多かった。

認知症予防と健康づくり事業

10月26日、東京都多摩市で健康長寿創造都市の取り組みと地域包括ケアシステムの研修を行った。

多摩ニュータウンの中でも入居後40年以上経過するエリアでは、特に高齢化が進んでいる。団地内の空き店舗を利用した

「地域の居場所づくり」や、多くの「無関心層」に働きかけ、健康まちづくり事業に取り組む。

市役所の基幹型地域包括1カ所を中心に5カ所の地域包括支援センターと連携して、生活支援のネットワークを構築。

認知症対策でサポーターの養成、医療センターと初期集中支援チームなどの連携に取り組んでいる。

医療機関との連携を見習いたい。



健康まちづくり事業に取り組む多摩市

内水対策のため 土地を取得

産業建設委員会

12月8日に委員会を開会し、議案11件、請願1件を審査した。

全議案可決・請願採択

城山台9丁目の 土地取得

Q 利用目的が決定していない土地をなぜ購入するのか。

A 主な目的は、小川流域の内水対策と木津駅東地区の市街地形成の活用である。

賛成多数で可決

水道会計補正予算を 審査

Q 城山台の開発の分担金は。また、小規模開発での分担金は。

A 城山台は1㎡当たり2500円で、小規模開発地は2千円の手当金。京都大学は、28年度4億円納入し、総額6億1546万円納入済み。

全員賛成で可決

木津高校の通学路など 新たに認定

Q 事業認可を進める上で用地買収が進まない中、市道認定が先に必要な法的根拠はあるのか。

A 用地買収はまだだが、木津高校のアクセス道路は、29年度以降に用地測量や用地買収を実施する予定。

木津川台駅へのアクセス道路は、28年度は用地買収に伴う用地確定作業を実施中。29年度以降、詳細設計の予定である。

反対討論

市道認定の根拠がなく、時期尚早である。

賛成多数で可決

山城森林公園の 指定管理者は

Q 応募は山城森林組合だけであったが、選定委員会での意見は。

A 山城森林公園の利用者の個人情報管理、台風や大雨等の危機管理体制、柵の安全管理などの意見があった。

全員賛成で可決

研修報告

おやべ1%まちづくり事業の取り組み

10月20日、富山県小矢部市で、「おやべ1%まちづくり」事業と観光振興および地域産業の活性化への展開を研修。

市民自らが考え、一緒に行動する事業に対し、個人市民税の1%に相当する額を財源として補助

金を交付する事業。

上下水道施設の包括的民間委託

10月21日、石川県かほく市で「上下水道施設の包括的民間委託」を研修。特徴は、上下水道施設

の維持管理に関する各業務を効率的に維持管理が実現できるよう、性能規定・複数年契約で、包括的に委託。
本市でも費用対効果を含め、今後に生かしていきたい。



市民自らが考え行動する「おやべ1%まちづくり」事業

コンクリート打設始まる

クリーンセンター建設特別委員会

12月9日に委員会を開会し、環境の森センター・きづがわ施設整備工事の取り組み状況（9月～11月）について説明を受け、質疑した。終了後、現地視察を行った。

プラットホーム工区、ごみピット工区、炉室・蒸気タービン工区のコンクリート打設が始まる。11月25日にボイラ・タービンの2回目溶接安全管理審査があった。

主な質疑

Q ごみピットを2回に分けてのコンクリート打設に問題はなかったのか。
A 計画的に行っており、打設後の確認で、継ぎ目に問題はない。

Q コンクリート打設で冬場に向かつての指導は。
A 気温に留意し、コンクリート量等の補正をする計画である。



プラットホーム工区の状況（11月30日）

Q 溶接検査はどのようなものか。
A プラント機器は製作段階ごとにどのような検査をするのか確認している。現場では、毎週の工程会議で、コンサルタント・市が立ち会う検査項目を確認し対応している。

Q 工場や現場検査のスケジュールは。監理コンサルタントの対応は。

平成29年 第1回（3月）定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
2月	16日	木	議会運営委員会（議会招集告示）	第1委員会室（5階）
	23日	木	本会議（開会） 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場（6階）
	24日	金	本会議（予備日）	議場（6階）
	27日	月	本会議 会派代表質問	議場（6階）
	28日	火	本会議 会派代表質問	議場（6階）
3月	2日	木	総務文教常任委員会	第1委員会室（5階）
	3日	金	厚生常任委員会	第1委員会室（5階）
	6日	月	産業建設常任委員会	第1委員会室（5階）
	7日	火	クリーンセンター建設特別委員会	第1委員会室（5階）
	8日	水	補正予算特別委員会	第1委員会室（5階）
	9日	木	本会議 一般質問	議場（6階）
	13日	月	本会議 一般質問	議場（6階）
	15日	水	本会議 一般質問	議場（6階）
	16日	木	予算特別委員会	全員協議会室（5階）
	21日	火	予算特別委員会	全員協議会室（5階）
	22日	水	予算特別委員会	全員協議会室（5階）
	23日	木	議会運営委員会	第1委員会室（5階）
	24日	金	本会議（閉会） 議案採決等	議場（6階）
	27日	月	本会議（予備日）	議場（6階）

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- 本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ（市議会）から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成=○ 反対=× 退席=△ 欠席=欠 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名（第4回定例会）															
		議会議員報酬等に関する条例の一部改正	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	職員の給与に関する条例等の一部改正	修正動議 共同浴場条例の一部を改正	平成28年度一般会計補正予算第4号	サンタモニカ市と友好都市盟約の締結	木津町・加茂町・山城町 新市基本計画の変更	京都地方税機構規約の一部変更	市道の路線の認定	土地の取得（城山台9丁目）	土地の取得（梅美台8丁目）	地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	木津川の子どもたちのためにゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願書	学校の図書館司書を、1校にひとり配置してください。	公園など、子どもたちが安全に遊べる場所の整備をさらにすすめてください。
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
森本 隆	さくら	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
山本 和延	さくら	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西岡 政治	民主未来	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
高味 孝之	民主未来	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
西山幸千子	共 産	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○
森岡 譲	共 産	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○
宮嶋 良造	共 産	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○
酒井 弘一	共 産	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
島野 均	公 明	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
森本 茂	自 民	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
片岡 廣	自 民	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
九社前隼朗	無会派	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○
谷川 光男	無会派	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○
倉 克伊	議 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
採決結果		可決	可決	可決	可決	否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	不採択	採択	採択

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
公明=公明党 自民=木津川市自民党議員団 無会派=会派に属さない議員

組合議会報告

役員改選

(加茂笠置組合)

11月8日、臨時会を開会。笠置町議会議員選挙に伴う役員の改選。

案3件、承認1件を審議。議長に西岡良祐氏(笠置町)を選出。

公平委員に安井恒夫氏。

27年度の山城病院決算は、純利益3594万円。前年度比は3248万円減少。

老健やましろの決算は、純利益512万円。2年連続の黒字。前年度比は540万円減少。

28年度補正予算の1597万円の増額は職員給与の増額など。

職員給与と条例の一部改正は、人事院勧告に基づくもの。

全員賛成で同意

6年連続の黒字決算

(山城病院組合)

11月14日、定例会開会。同意1件、認定2件、議決1件。

単年度収支 234万円の黒字

(相楽中部消防組合)

11月21日、定例会開会。承認1件、認定1件、議決4件を審議。

27年度決算は収入15億597万円、支出15億1682万円。差引額3915万円で、単年度収支234万円の黒字。

28年度一般会計補正予算は1223万円を増額し、14億1123万円とする。内容は施設整備基金への積み立て、人事異動に伴う減額等。

他に行政不服審査法条例の全部改正について審議を行った。

全員賛成で同意・認定・議決・承認

全員賛成で承認・認定・議決

「し尿処理場」改修 計画の進捗状況は

(広域事務組合)

11月21日、定例会開会。議長、議会運営委員選出。認定2件、議案3件を審議。

27年度一般会計決算は、収入3億8470万円、支出3億8234万円。特別職で非常勤のもの報酬の一部改正。

外部登用の審理員の報酬1件120万円を追加。

職員の給与に関する条例の一部改正は、人事院勧告に準拠し期末手当の引き上げ等の改正。

28年度一般会計補正予算は、報酬および職員の期末手当等の改正。

全員賛成で認定・可決

27年度特別会計決算は、収入1860万円、支出1676万円。

27年度休日診療所受診者は、807人。

賛成多数で認定

ダイオキシン等の 毒性等価濃度、国 基準を大幅下回る

(西部塵埃処理組合)

11月29日、定例会開会。議案2件を審議。

構成市町の人口は11万1829人、1・2%の増加だが、施設の処理能力の低下により、ごみ搬入量は1万449トンで3・3%の減少。

全員賛成で認定・可決

27年度収入は3億8835万円で前年度より62%の減少。支出は3億5174万円で前年度より65%の減少。

決算額が大きく減少したのは、26年度の施設整備基金に関する条例の廃止によるもの。

収入支出差引残金3661万円は、財政調整基金と翌年度に繰り入れた。



老朽化が進む打越台環境センター（精華町）

一般質問

20人が市政を問う



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

インターネットで市議会の生中継や録画配信がご覧いただけます。

木津川市議会

検索



スマホで確認（京都府河川防災情報）

河川情報で想定外の災害に対応を

スマホ視聴の拡充を検討

Q 「想定外」の災害時の対応策について提案する。

①職員全員が緊急用に携帯電話を使用できる仕組み（モバイルチャイイス）を活用できないか。

②現場で最新情報が入手できる仕組みを拡充せよ。

③高齢者のためにも早急に避難所のトイレ整備を

進めよ。

A 市長・総務部他①いろいろな通信手段を検討していく。

②市の河川監視カメラのスマホ視聴を検討する。

③計画的に整備する。

7年後に基金が枯渇

Q 市の財政について問う。

①市の財政見通しでは、7年後に基金がなくなるが、取り組み方針は。

②残業削減の取り組みは不十分。フレックス制等新しい仕組みを導入せよ。

管理職の時間外勤務管



さくら会

森本 隆

理は健康面からも実施すべきだが。

A 総務部・市長室①歳入、歳出等の見直しを進める。

②週2回、水曜と金曜をノー残業デーにして、対応を図っている。

管理職の時間外勤務等は把握していない。

Q 市道335号線で整備の3点を聞く。
①今後335号線の拡幅計画はあるのか。
②歩道・舗装の改修計画はあるのか。
③関西アーバン銀行付近の交差点で事故が多発している。今後の対策は。

A 建設部①具体的な計画はないが、必要性は認識している。
②市内の幹線道路等の路面の状況調査を実施。その結果、現時点では改修の必要はないと判断。しかし舗装の損傷等修繕が必要な場合、予算内で修繕する。
③現在木津署と協議。内容は「止まれ」の路面標示周辺のカラー塗装化、

市道335号線の整備を急げ
整備の計画はないが必要性は認識



日本共産党 森岡 謙

警戒標識や案内標識の設置等の検討。
また、啓発活動も取り組む。

空き家利用者への支援を

Q 空き家を利用しての交流場所づくりで次の点を聞く。
①調査で古民家と言われ

る建物はあったのか。
②空き家物件で貸し手・借り手があつた場合は積極的に支援を。
A マチオモイ①空き家は468軒あつたが古民家は把握していない。
②個人や団体から相談があれば支援していく。



狭い歩道の横を通行する車



29年度地域要望書の様式

行政地域要望の対応は

回答は丁寧知らせていく

Q 28年度の要望件数と対応件数は。

A 総務部 当初要望は448件で、対応は117件。

Q 対応は単年度で完了するの。

A 総務部 原則単年度完了だが、一部、複数年にわたり対応してい

るものもある。

Q 要望に沿えない時の回答書は、毎年同じ内容なのか。

A 総務部 内容はできる限り簡潔明瞭にしている。状況が変われば、回答内容が変わることはある。各地域では、一定

の理解はされていると考



さくら会 山本 和延

Q 継続要望に対する回答書で、状況が変化しないからとして同じ内容では理解されにくいのでは。文言等を工夫して理解を深めてはどうか。
A 総務部 回答書の限られたスペースの中

で、理由をつけて丁寧に知らせしていく。

Q 地域長等が、回答書に対して理解しにくいなどで来庁される時の対応は。

A 総務部 理解が深まるよう、その都度対応していく。

議会の意思決定にどう取り組む

極力尊重していく方向だ

Q 先の9月議会で、初の「市民公募型協働事業」を来年度予算に計上する政策提言を全会一致で可決した。

また、これまで多くの付帯決議を行政に提出。提言や決議には、法的拘束力がないので放っておいてもいいとの声も聞こえるが、政治的拘束力

はあり、執行機関はその是非に真剣に取り組む政治的責務を負わなくてはならない。

真摯に向き合うべき。

A 市長 私議員経験者であり、議会の立場も理解しているが、財政的な問題点もある。しかし、提言・決議は、議会の意見を尊重し各所



民主未来クラブ
高味 孝之

属に十分検討するよう、全庁に伝えている。

事故をゼロへ

Q 以前から庁舎西側市道の交差点は、事故が多発し、道路に大きく「止まれ」の表示がされたが、数件の事故が起こ

っている。
早急に対策をすべきだ。
A 総務部 事故原因は一時不停止が多い。防止策として、注意喚起の看板を6枚設置した。警察や関係機関とも連携して、事故防止に努めていく。



12月の一般質問後カラー塗装された「止まれ」の表示

給食センター廃止の通知がない

議決後、保護者に文書配布

Q 山城給食センターは、地域の産物を生かした給食を一番多く提供。残食量は少なく食育基本法の方針に合致する。なぜ廃止か。

A 教育部 厨房機器の老朽化や21年に出た国の学校給食衛生管理基準を満たせない。

また、改善に必要な敷

地面積が狭く、各種対応が困難であるため。

Q 国の管理基準策定後すぐに、木津給食センターの厨房機器を教育委員会の判断で2億円かけて更新したが、山城給食センターは更新しなかった。

山城地域の児童・生徒



会派に属さない
九社前 率朗

に対し、安全・安心・公正な運営か。

A 教育部 当時、木津給食センターは既存の施設でいくという判断で厨房機器の更新を行った。今回は、徹底した衛生管理に基づく安心安全な給食を提供するために2センターを廃止し、新

給食センターへ移行する。

市民と職員の健康対策は

Q 学校も含む各職場において、受動喫煙防止のため、必要な措置を講じているのか。

A 総務部・教育部 公共施設・校舎内について基本的に禁煙としている。



地産地消を提供している山城給食センター

Q 森林整備の質問から5年が経過した。松枯れ、ナラ枯れ等、森林の荒廃は以前に比べて悪化している。
A その後の対策は。
マチオモイ 放置竹林等の対策事業を実施、今後は府の新しい補助金で進める。

Q 新しい補助金とは、「豊かな森を育てる府民税」と思うが内容は。
A 「マチオモイ」納税者1人当たり600円を徴収。29年度以降は、具体的な計画を進める。
Q 森林整備後、森林の癒し機能を活用してストレス解消や健康増進

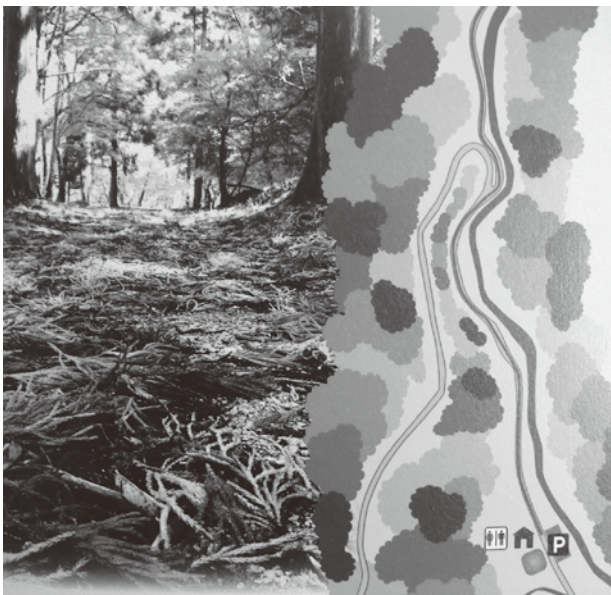
等の活動を展開するため
A の「森林セラピー基地」
マチオモイ・健康福祉部 森林セラピー基地は、森林地域と健康保持・増進等の活動を提供
提供する施設などで構成さ

府内で初のセラピーロード設置を
 健康意識を高めるため設置は有効



民主未来クラブ
 河口 靖子

れる一定の範囲であると認識している。
Q 市内には森林ボランティアガイドの資格
A を取得された方がおり、活動の場を考えては。
マチオモイ 今初めて知った。参考意見とする。



森林パワーがほとばしる道（兵庫県赤西セラピーロード）



傷んでいる生活道路

生活道路の補修を急げ

既存の市街地内の事業化を目指す

Q 国の補助金が減って、道路補修計画が進まない。市の予算を増やして積極的に生活道路の補修を進めよ。
A 建設部 補修計画27kmのうち、実績は3・5km。29年度以降は、既存の市街地内の事業化を目指す。

複数の副地域長は当然
Q 行政地域設置条例が複数の副地域長を認めているのに、行政が1人にせよと地域へ期限を切って求めることは根拠も正当性もない。市は8年前の失敗を繰り返すな。
A 総務部 副地域長を当時から1人にする

市国際交流は
Q 28年のサンタモニカ市への中学生派遣が、加茂と山城地域はなぜゼロだったのか。
A 市の国際交流は中身が



日本共産党

酒井 弘一

なく、協会へ丸投げだ。外国の都市と初めて友好都市盟約を結ぶ市の国際交流としては貧弱。
A 教育部他 加茂と山城から希望が少なかった。面接試験で選考にもれた。
 市の方針は、国際交流協会と協働のもと、国際理解や学校教育などの充実を図っている。

子ども虐待を予防で減らせ

努力をしていく

Q 27年度、児童虐待と認められる件数を年齢別に。

A 健康福祉部 3歳未満が14件、就学前が22件、小学生が33件、中学生が9件、高校生は4件。

Q 虐待の原因に育児不安がある。健診で見えるのでは。

A 健康福祉部 健診で漏れない形をとってきた。どこが欠けているか検討を始めた。

Q 里親支援の取り組みは。

A 健康福祉部 府の家庭支援センターが窓口である。

お茶の京都博を成功に



民主未来クラブ
炭本 範子

Q 具体的なイベント計画は。

A マチオモイ 4月淀川公園で「さくら茶会」。10月メインイベントは宇治市。12月瓶原で「へうげものアート茶宴」。

30年3月アスピアで献茶などで締めくくる。

Q 観光客を受け入れる民泊を推進しては。

A マチオモイ 関連部署と協議していく。

注意を喚起する方策を

Q ①住民やサイクリストが安心・安全に走るためには。②市を拠点とする親切なマップ作成は。③自転車道路網計画の策定は。

A マチオモイ ①路線案内誘導マキングなど検討。②課内で検討したい。③ない。



住民も安心、自転車ナビ



更新が必要な厨房機器（山城学校給食センター）

各センターの給食は安全・安心か

すべて安全・安心に提供している

Q ①梅美台の給食センター予定地から、棚倉小学校への配送ルートと時間は。

②加茂給食センターのアレルギー対応は、現状25品目を堅持できるのか。③山城給食センターの老朽化した厨房機器は適切に更新せよ。

A 教育部 ①州見台↓市坂↓国道24号北進↓上粕↓棚倉。20分強で着く予定。

②「無理に過度に複雑な対応は行わない」ことが基本で、今後検討する。③毎年業者による維持点検をし、改修が必要ならば行っている。



日本共産党
西山幸千子

保育士全体の待遇改善を

Q 10月から府の最低賃金が上がった。保育士確保に時給アップすべきでは。

A 市長室・健康福祉部 待遇面の改善は必要だと認識している。人事担当に要望したい。

アートから「聖地」へ

Q 木津川アートのみならず、映画のロケ地に手を挙げて「聖地」を目指してはどうか。

A マチオモイ・市長 アート実施後も再訪してもらうため、一年間有効の無料クーポン付グルメマップを作成した。有名な映画があれば誘致して。

Q 市の老人福祉センター・文化センター・交流会館・コミュニティセンター条例の見直しを問う。

A 市長 十分検討したい。

Q 増床計画の進捗状況は

A ①増床棟のオープン時期
②増床計画の中に、農産物直売所、図書館分館スペースは。
③市の出資が、農産物直

条例の見直しを検討する

やすらぎ苑の日曜日開館を



JR上野駅の男女共用のくみ取り式トイレ

Q ①軽度の要支援者に
もこれまで通りの介
護を。

A 健康福祉部①現在介
護サービスを受けて
いる人はそのまま。より
軽度な支援を必要とする
方には多様なサービス。
②新総合事業の対象はチ

軽度者の介護サービスを下げるな

個々に合わせた多様なサービス

エックリストで判断する。

短期証の朱書きをなくせ

Q ①国保の府一元化の
進行は。

A ②国保証の「短期」の朱
書きは見せしめ、なくせ

A ①市民部①報告できる
事項はない。
②検討課題の一つである。

身近な駅施設の改善を



日本共産党

宮嶋 良造

Q ①市民に莫大な負担
を押しつける北陸新
幹線の誘致活動をやめよ。

A ②上野駅の男女共用くみ
取り式トイレを改善せよ。
政策監・マチオモイ
①地域の活性化に繋
がる。誘致活動は続ける。
②JRは調査と検討を進め

ると言っている。

エアコン整備を直ちに

Q ①普通教室の府のエ
アコン設置率は68%、
市内の学校はどうか。

A ②7月の平均最高気温は。
エアコン整備を進めよ。
③教育長・教育部①小
学校11%中学校0%。
②7月は非常に暑い。
多額の費用が必要、長
期的・総合的に判断する。



民主未来クラブ

西岡 政治

売所設置の必須条件であ
る。出店者へ財政支援は。
④図書館分館設置方針は。
⑤図書館分館と西部出張
所の統合は。

A マチオモイ・教育部
①時期は未定と聞い
ている。

②地下に農産物直売所、
4Fに図書館分館と西部
出張所のスペースが確保

されていると聞いている。
③建物等の投資的経費の
一部を補助する。
④増床計画時期が明らか
になった時にイオンモー
ルと設置に向け協議する。
⑤統合の方向で内部協議
を行っている。



日曜日でも使用できるように（山城老人福祉センター）

災害時の避難所運営は大丈夫か

防災計画に基づき人員配置する

Q ①避難所運営マニュアルが徹底され、訓練はできているのか。

②災害ボランティアの受け入れ体制は。

③福祉避難所の周知徹底は。

A 総務部①マニュアルに基づいて想定し、最近3カ年でそれぞれ3カ所にて避難所運営訓練を

実施した。今後さらに精度を高めたい。

②災害ボランティアセンターを設置し、社会福祉協議会と連携する。

③市内14カ所の福祉団体と災害支援協定を締結しており、市ホームページで周知する。

肢体不自由児に支援を



公明党

島野 均

Q 29年度、州見台小学校に入学する肢体不自由児が通学できるよう特別支援学級を設置し、学校生活を送れるように。

A 教育部 障害の状態、教育的ニーズ、総合的観点、保護者の意向も踏まえ検討する。

市の除草経費削減を

Q ①除草費用は年間いくらか、その削減対策は。

②民間空き地の雑草苦情件数とその処理状況は。

A 市民部・建設部①年間費用約1億8700万円。防草シートと砂利敷等を実施し、今後も工夫を検討する。

②11月まで230件、その内123件除草済み。その他は再度指導を徹底。



新給食センターのり面の除草は（梅美台）



早期開業が待たれる商業地（城山台2丁目1）

城山台のスーパーはいつくるのか

まだ正式に手続きはしていない

Q ①JR木津駅東側は今後の開発を考え「小川放水路」を新設具体化するべき。

②城山台地域へのスーパーの誘致はプラントか。

A 建設部・マチオモイ①案として検討。②正式でなく答弁控える。

城山台くども園遠すぎ

Q ①保育園待機児童が100人を超えている対策は。

②警察への緊急通報装置やAEDの設置を。

A 健康福祉部①市内全域を通園区域としており、29年4月開園の藍咲学園により解消する。

②重要であり検証し判断



自民党議員団

森本 茂

「七タまつり」の復活を

Q ①市制10周年を機に「七タまつり」復活を。

②サンタモニカ交流係を。③城山台配水池をネーミング・ライツに。

A 市長室・マチオモイ①他①商工会等の実践

恭仁山荘を観光名所に

Q 浄瑠璃寺く岩船寺く恭仁宮く海住山寺く恭仁山荘という加茂町の観光ルートに活用すべき

A 市長・マチオモイ関西大学の意向によつては市事業と交流可能

他に木津城を質問

市営共同浴場の環境整備を

快適に使っていただくことが一番

Q 料金改定で、ろ過器の更新、トイレを和式から洋式へ。

また、タイルの修理、水道管の更新などの環境整備へ。

A 市民部 いずみ湯は、脱衣場の床修繕、ろ過器の入れ替えを実施した。やすらぎの湯は、ろ過器の入れ替え、熱交換

ポンプの修繕を実施中。来年度は両浴場の和式トイレを洋式に変更する。

福祉タクシー券の改革は

Q 市は障害者福祉タクシー利用券にこだわ

っているが、現状を見ると、ガソリン券との併用を選択制にすべきでは。



民主未来クラブ

長岡 一夫

A 健康福祉部 現在、考えていない。現行の範囲で利用できる方法をすぐにできることから検討する。

市役所周辺整備を進めよ

Q 市役所周辺整備の計画はどのように進めているのか。住民が増え

ていく中、対応できる整備が必要だ。

A 副市長 将来的に庁舎周辺の土地に公用車と来庁者の駐車場を確保して、民有地の借地は解消していくことが基本方針で、今はその途上の段階である。

中学校の部活動指導員配置は

府で取り組みがあれば検討する

Q 府教育委員会の調査では顧問を務める部活動の競技経験がない先生は、中学校で半数、高校では4割近い。

また、3人に1人は自信がないと回答。多忙化対策にもなる部活動指導員配置を進めては。

A 教育部 現在、外部コーチを配置してい

る。

決定すれば配置替えも含め積極的に考える。

木津川アートを振り返る

Q ボランティアの皆さんのお力添えがあり、山城地域を舞台に第5回木津川アートが行われた。テレビ・ラジオ等で取り

上げられたが、前回より訪問者が増えたのか。

A マチオモイ 約1500人増え約1万人。市外が約48パーセント。山城地域を多くの方に知ってもらう機会で成果はあった。



さくら会

高岡 伸行

以前からの課題でもある「環の拠点創出事業」につなげる仕掛けづくりも必要では。

A 市長・副市長 自転車を使った観光は一つのテーマとして考える。木津川アートは地域の皆さんが主役。地方創生の最たるもので今後も取り組む。



大人気の体験アート（山城プール）



改善が進む共同浴場

食品ロス削減の取り組みは

食品ロス削減府民会議で協議中

Q 学校での食品ロス削減の取り組みは。

A 教育部 給食指導や、食育を通じて食品ロスである食べ残しを減らすよう努めている。

Q 残菜の処分は。

A 教育長・教育部 堆肥にして菜園等で利用。

城山台小では、食プロジェクト残菜削減計画を推進し、残菜量が減少。来年度からできることから進めていく。

Q フードバンク等を通じて、消費期限近くの災害備蓄品を寄付等しては。

A 総務部 府内の2つの団体と協議中。

成年後見制度の周知は



公明党

柴田 はすみ

Q ①成年後見制度の利用状況と周知方法は。

A 健康福祉部 ①把握できない。ホームページやパンフレットで周知している。

Q ②国の動向を見る。

高齢者運転事故をなくせ

Q ①免許証の返納が進まない理由は何か。

A 総務部 ①移動手段がなくなる。②先進地の事例を参考に。

Q ②買い物や病院等交通手段が不便な地域の施策は。

A 総務部 ①移動手段がなくなる。②先進地の事例を参考に。

公共施設等総合管理計画は

市民ニーズを踏まえ計画を策定

Q ①公共施設等総合管理計画（中間案）は。また、策定過程における市の考えは。

A 総務部・健康福祉部 ①課題の整理を行い、市民アンケートを実施し、本計画の策定を進める。

②保育園の民営化は床面積の削減になるが、進捗状況は。

③市民アンケート結果により、重要度が低いとされた施設に対して、市の考えは。

A 総務部・健康福祉部 ①課題の整理を行い、市民アンケートを実施し、本計画の策定を進める。

②公立保育園全園の総延床面積68%の削減となる。

③パブリックコメントを行い、年度内の策定に向け、手続きを進めている。

④施設のあり方を検討し、市民の理解を得ながら、



さくら会

尾崎 輝雄

公共施設全体のマネジメントを進めていく。

宇治木津線の整備状況は

Q 宇治木津線の整備は現在どのような状況か。

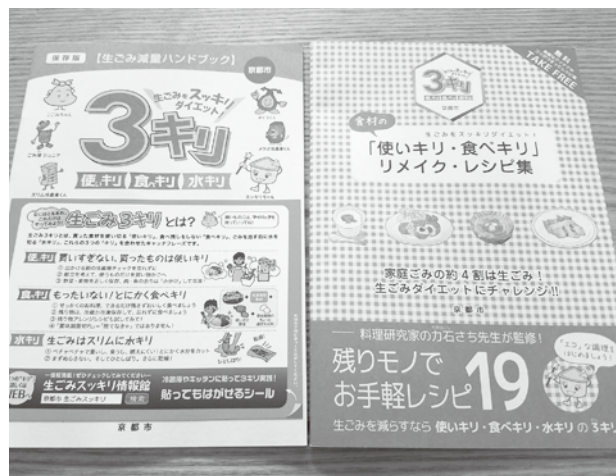
また、今後はどのように進んでいくのか。

A 建設部 現在、国の「概略ルート・構造の検討」調査を実施。近々、計画段階評価やアンケートで地域の意見聴取も行われる。その後、ルートを決め、都市計画決定を経て事業化となる。

道路調査の段階を早期に進め、1日も早い新規事業化を要望する。



木津保育園は30年度民営化へ



食品ロス削減の取り組みを（京都市パンフレット）

高齢化社会での交通安全対策は

心身等の現状維持に取り組む

Q 高齢ドライバーの交通事故が深刻な社会問題となっている。

①認知症対策の取り組みは。②身体等を現状維持する取り組みは。③交通手段の確保にコミバスの運賃を75歳以上は100円に。④コミュニティ社会の構築を。

A 健康福祉部・マチオモイ①認知症に対する理解をし、予防や早期発見・早期対応の体制を整備する。

介護者の支援の重要性を認識し、取り組みを進める。

②介護予防に筋力増強のトレーニング等を実施。二次予防として運動器の

機能向上・栄養改善・口腔機能向上の実施。

③持続可能な公共交通のため、コミバスの運賃を改定する予定はない。

④サロン等は交流の促進等や介護予防につながる介護予防サポーターを養成し、集いの場で体操教室の実施に向け準備を進めている。



さくら会
伊藤 紀味枝

道路の安全性の強化は

Q 下水道管設置後、約30年を境に道路陥没が多発する傾向だが、実態と対策は。

A 上下水道部 事故等はない。29年度に長期延命化事業計画を策定、維持管理を徹底。



生涯現役を目指して（認知症カフェ）



音声が届かない防災行政無線（綺田地区）

防災行政無線の点検結果は

問題あり・改善に向け対応する

Q 災害を防ぐ対策パート2①山城地域の洪水標識板はいつ設置完了か。②防災無線および戸別受信機の点検結果は。

③ため池の水位情報確認と避難勧告の発令伝達は。

A 市長・総務部・建設部①29年の出水期までの設置に向け調整していく。②音声が届かない

等は把握。引き続き改善する。③市から地元水利組合に確認し避難勧告等を発令。

事業執行等の見通しは

Q ①予算執行は万全か。②市道大平尾神童子線の用地調査結果および、木津高へのアクセス道路

の進捗は。②国道24号歩道設置事業進捗は。また、宇治木津線の要望活動・動きは。

A 総務部・建設部①事業2件以外は年度内完了の予定。用地は継続調査。道路整備は、本年詳細設計以降順次実施。②地権者1件契約。宇治木津線は概略ルート調査。



会派に属さない
谷川 光男

準用河川の整備状況は

Q ①河川の総延長等現状は。②農業振興地の未整備河川は。

A 建設部①42河川中11河川改修済。②土地改良区等連携し実施。③現時点での計画なし。

「わがまち・あの人出張インタビュー」

子育て・高齢者支援に取り組む「よつといで」を訪問

古民家で居場所づくり

○平成20年に嶋村清子さんと女性センター指導員であった杉山幸子さんとで開設。
○スタッフは多くのボランティアの方です。
○子育て中の方や高齢者が利用されています。

日替わりランチ（要予約）や親子ひろば、親子遊び、親子クッキング、4世代交流クッキング、絵手紙などの教室を開いておられます。
つながりの輪を広げる「よつといで」に多くの

利用時間〈平日のみ〉
午前10時～午後3時
電話
(72) 9910
場所
木津清水106



みんなで楽しく親子クッキング

市民の利用を望んでおられました。

保育・子育て支援の満足度向上を

施策の充実に取り組む

Q ①子育て世代包括支援センターの整備を進めては。②今後の子育て支援センターの配置は。③保育コンシェルジュ、子育て応援アプリの検証は。

A 健康福祉部①妊娠期から子育て期にわたり、総合的に相談や支援を行うワンストップサービスは。

Q 合計特殊出生率1.8の目標達成への考えは。

A 政策監 子育て支援ナンバーワンを目指した施策の充実や子育て応援アプリ・子育て支援サイトの立ち上げ等、地道に取り組むを進める。

木津川台地域の諸課題

Q ①三菱東京UFJ銀行事務センターの工



さくら会

谷口 雄一

事予定は。②木津川台駅へのアクセス道路は。③山手幹線未着工部分は。

A 市長・建設部他①31年度中の操業予定。

②用地買収予定地の境界確定を実施。③全線が開通してこそ値打ちがある。早急な問題解決に向け要望していく。

SoftBank 4G 13:01 28%

きづがわいい

木津子育て支援センター

住所 〒6190214
京都府木津川市木津白口65
(木津保育園内)

Google Map

TEL 0774-71-1115

利用時間 【月～金】午前9時30分から午後4時30分まで

URL <http://www.city.kizugawa.lg.jp/sp/index.cfm/7,634,9,33,153.html>

詳細内容 子育て支援センターは親子で一緒に遊ぶ場、育児の相談をする場です。お気軽にお越しください。

カテゴリ 子育て支援センター

ホーム マップ イベント

Android

iOS

子育て応援アプリ「きづがわいい」のご紹介

さらなる議会改革に向けて

議会運営委員会

10月13日・14日、石川県加賀市議会と福井県越前市議会にて「議会改革と議会活性化」を研修。

（加賀市議会）

タブレット端末使用は、27年10月から本格導入。導入経費は、117万円。目的はペーパーレス化や事務の効率化である。

市民と議会との語る会は、常任委員会の内容を報告し、設定したテーマに沿って意見交換する。

9地区で開催。

議会活性化特別委員会の取り組みは、22年8月に設置。決算特別委員会での3分科会制や決算審議のあり方など検討。



議会活性化へ研修（加賀市議会）

政策条例制定の取り組みは、市民の提案を受け、検討委員会を設置。委員は議員6人と市民3人。8回の会議を開催し、議会に上程。

（越前市議会）
議会モニター制度は、28年6月に実施。男女8人に委託。一般質問の重複を避けるべきとの意見があった。

今回の研修は、参考にする多くの事例があった。議会のあるべき姿をPDCAサイクルの方法で改善されている。今後の取り組みに生かしたい。

お役所言葉を言い換えて

広報編集委員会

11月22日、滋賀県竜王町で「広報編集」を研修。

年4回発行、配布方法は全戸に新聞折り込み。未購読世帯と町内企業には個別郵送。

専門用語の多い内容は、読んでもらえないので、分かりやすく言い換えることに努めた。

全国や県単位の研修を重ねて、「正確に」「分かりやすく」「伝える」をモットーに編集され、表紙、写真、特集記事、定例会、委員会、一般質問の記事を全て一新。

27年度には全国町村議会広報コンクールにおいて奨励賞を受賞された。



わかりやすい議会だよりを目指して研修（竜王町議会）

友好都市・京丹後市議会と 議員研修会を開催



初めての意見交換会

11月15日、京丹後市議会の皆さんと交流会を開催。

旧丹後町と旧木津町は、昭和58年から友好町として交流を続けてきた。平成20年、京丹後市と友好都市盟約を結んだ。

全体会では、「議会の活性化と議会運営の取り組み」を研修、意見交換をした。

その後、委員会ごとに分科会を行った。

Q (京丹後) 議会報告会での市民からの提言は、行政にどう伝えているのか。本市では、所管の委員会でも議論している。

A 内容は市長に報告する。共感した場合は議員が一般質問で取り上げている。

Q (京丹後) 基本条例の見直しはしているのか。

A 見直しの検討は、必要と思っている。

第1分科会 (総務文教委員会・総務委員会)

研修テーマ
「行財政改革について」



第2分科会 (厚生委員会・文教厚生委員会)

研修テーマ
「子育て支援について」



第3分科会 (産業建設委員会)

研修テーマ
「企業誘致について」
「観光振興について」



市民と議会のつどい

市政全般にわたり、市民の皆さんと意見交換を行った。

**市役所北別館
参加者18人**



Q 梅美台の新給食センター建設地から市内で一番遠い棚倉小学校まで車で20分かかるとのことだが、無理ではないか。
A 配送時間は、教育委員会が実際に走行したと聞いている。
Q JR加茂駅の職員2人体制の存続を求める請願に対して、不採択とした議員の意見を聞きたい。

A JRは民間企業だ。民間主導で判断されたものであり、反対した。

Q 兜台や木津川台など開発された地域で消防団を組織できないか。

A 市も組織するよう進めているが、現実的に人が集まらない。

しかし、この地域の方で消防団に参加されている方もいる。

いずれは開発地域にも組織づくりが進められることを期待している。

**加茂文化センター
参加者12人**

Q 木津中央地区の土地購入はURが開発を見送った場所であるのになぜ購入するのか。

A 住宅開発されれば雨水などが木津駅東地域から市街地へと流れ、水害が発生する恐れがある。

また、将来に利用価値が上がる優良な土地であると考えたため。

Q 新給食センターとして購入予定用地はのり面も多く、有効に活用できない。

ない。賛成した議員の意見を聞きたい。

A 教育委員会の説明では30年には、現在の給食センターが対応できる9千食を超える。

また、今回購入予定の用地は施設が建てられる「準工業地域」であり、平地部分が7千㎡あり適切で、近隣の状況から価格も安価である。

Q 議会だよりは難しい行政用語が多い。市民に分かりやすくするべき。

A できるだけ分かりやすく、努力する。



**アスパピアましろ
参加者6人**



Q 保育園の完全民営化とあるが、公立の保育園の方が安心でいいのではないか。

A 基本的には国の制度が民間にシフトしたため。最近の保育ニーズに対応するために民営化は有効な手段と考える。

Q 地産地消の面から山城学校給食センターは、市内の学校給食の中で、一番良い。残す方法を考えてほしい。

A 建築後、14年経過しているが、厨房機器は以

前のままである。
新たに機器を購入してもスペースが狭く、アレルギー対策を行うにもスペースが足りない。
市民の理解が得られるよう、行政に説明を求めていく。

**市長に報告会の
概要を報告**

今後の市政に生かすため、正副議長と正副議会運営委員長4人から市長に対し「市民と議会のつどい」の実施報告書を手渡し、行政への要望等会場での意見交換の内容を伝えた。



わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)



栗原 保治 さん
(南加茂台)

ゾーン30

私の住む南加茂台バス通りには、制限速度表示がありますが、住宅地の中に入ると表示がありません。走行していると住民ではないと思われる車両が後部

にびったりと付き、あたかも「早よ、行け」と言わんばかりの行動です。それもこれも制限速度表示がないことが原因と考えます。他地区ではゾーン30という道路面に白ペンキで表示された場所を走行した経験があります。南加茂台もそのようにならないだろうかと思えます。高齢化で四輪電動車が目につくようになってきました。



諸 かつら さん
(相楽台)

イオン別館に入る予定の図書館

相楽台に住んで20数年、中央図書館の利用に不便を感じ続けてきました。今度できるイオン別館に図書館が入ると聞いて、あ嬉しいと思ったのですが、

教室1個ぐらいの広さと聞いて驚いています。本棚や閲覧スペース、図書検索コーナー、貸出返却のカウンター、司書さんの作業スペース、書庫にもなるバックヤードと考えるとそれでは狭すぎです。せめて教室3個ぐらいの広さはとって、子ども大人も落ち着いて本を選び閲覧できる図書館にしてください。



城 一美 さん
(山城町上粕)

地域との関わり

私は昨年9月に和束町より山城町へ引っ越してきました。私は加茂町生まれですが、木津川市になって大きく様変わりした町の様子に戸惑いを感じていました。しかし、山城町の地域の

方々とのふれあいを通して、温かな人情や歴史を大切にする心を実感しています。そして大きく発展する地域としても期待に胸を膨らませていきます。多くの人が木津川市に住んでいます。地域の関わりを大切に皆が住んでよかったと思える町になるように、私も微力ながら取り組んで参りたいと思います。

編集後記

冷たい空気に身体が震え、三寒四温を繰り返しながら、春になります。

3月12日で市制10周年を迎え、サンタモニカ市と友好都市締結をします。もうひとつの友好都市の京丹後市と合わせて、3市の交流発展を願うものです。

議会においてもさらなる改革が必要であり、今後も皆さんに読んでいただける広報として「正確

に・分かりやすく・伝える」をモットーに努力してまいります。

森本 茂

広報編集委員会

委員長 島 野 均
副委員長 山 本 和 隆
委員 森 本 伸 行
委員 高 岡 一 夫
委員 西 岡 幸 子
委員 森 本 孝 之
委員 高 岡 幸 子

お知らせ

3月定例会は2月23日(木)からはじまります。
詳しい日程は、9ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240
FAX 0774-72-8952
E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp